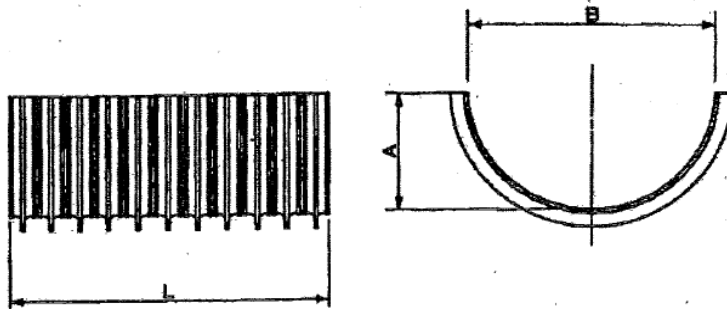


15 集水ます用半割塩ビ管（リブ付管）

集水ます用半割塩ビ管（リブ付管）



<標準寸法>

単位 mm

呼び径	L	A	B
150	240	73	145
200	240	111	228

- 備考1. 各寸法及び許容差は製造会社の材料規格値による。
 2. 原管は、下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（J S W A S K-13規格品）とする。
 3. 端面（全周）は、糸面取りとする。
 4. 許容差の無い寸法は、参考値とする。

16 集水ます材料表

集水ます材料表

(リブ付管使用)

材 料 名	単位	集水ます	集水ますⅡ型	集水ますⅢ型	簡易集水ます	摘 要
砂	m ³	0.009	0.009	0.009	—	
基礎ブロック ①	個	1	1	1	—	
基礎ブロック ②	個	1	1	1	—	
側壁ブロック ③	個	3	3	3	—	
上部ブロック (1号) ④	個	1	2	2	—	
上部ブロック (2号) ⑤	個	1	1	1	—	
基礎コンクリート	m ³	—	—	—	0.009	
モルタル	m ³	0.005	0.007	0.007	—	第2号配合
集水ますモルタル蓋	個	1	—	—	—	
縁石ブロック (い)	個	1	—	—	—	
縁石ブロック (ろ)	個	1	—	—	2	
集水ますⅡ型ブロック	個	—	1	1	—	
集水ますⅢ型蓋	個	—	—	1	—	
密閉蓋	個	—	1	—	—	
縁石コンクリート	個	—	0.006	0.006	0.009	
型 枠	m ²	—	0.0762	0.0762	0.237	
簡易集水ますブロック (A)	個	—	—	—	1	
簡易集水ますブロック (B)	個	—	—	—	1	
簡易集水ますブロック (C)	個	—	—	—	1	
簡易集水ます蓋	個	—	—	—	1	
集水ます用半割塩ビ管 (リブ付管)	本	1	1	1	—	
コンクリート	m ³	0.0117	0.0117	0.0117	—	集水ます用

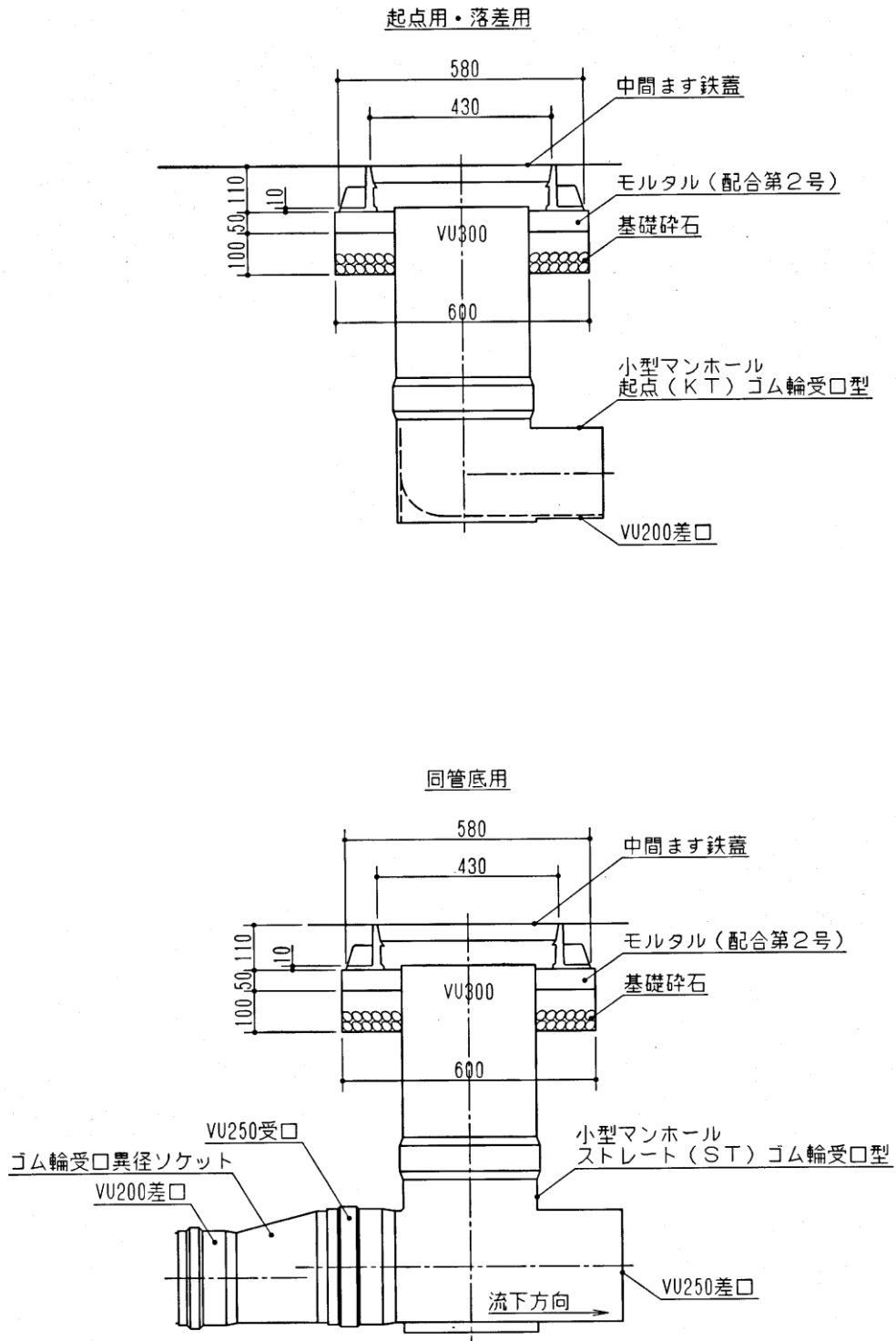
集水ます材料表(参考)

材 料 名	単位	集水ます	集水ますⅡ型	集水ますⅢ型	簡易集水ます	摘 要
砂	m ³	0.009	0.009	0.009	—	
基礎ブロック ①	個	1	1	1	—	
基礎ブロック ②	個	1	1	1	—	
側壁ブロック ③	個	3	3	3	—	
上部ブロック(1号) ④	個	1	2	2	—	
上部ブロック(2号) ⑤	個	1	1	1	—	
基礎コンクリート	m ³	—	—	—	0.009	
モルタル	m ³	0.005	0.007	0.007	—	第2号配合
集水ますモルタル蓋	個	1	—	—	—	
縁石ブロック(い)	個	1	—	—	—	
縁石ブロック(ろ)	個	1	—	—	2	
集水ますⅡ型ブロック	個	—	1	1	—	
集水ますⅢ型蓋	個	—	—	1	—	
密閉蓋	個	—	1	—	—	
縁石コンクリート	個	—	0.006	0.006	0.009	
型枠	m ²	—	0.0762	0.0762	0.237	
簡易集水ますブロック(A)	個	—	—	—	1	
簡易集水ますブロック(B)	個	—	—	—	1	
簡易集水ますブロック(C)	個	—	—	—	1	
簡易集水ます蓋	個	—	—	—	1	
半割り陶管	本	1	1	1	—	
コンクリート	m ³	0.0117	0.0117	0.0117	—	集水ます用

17 中間ます標準図

中間ます標準図

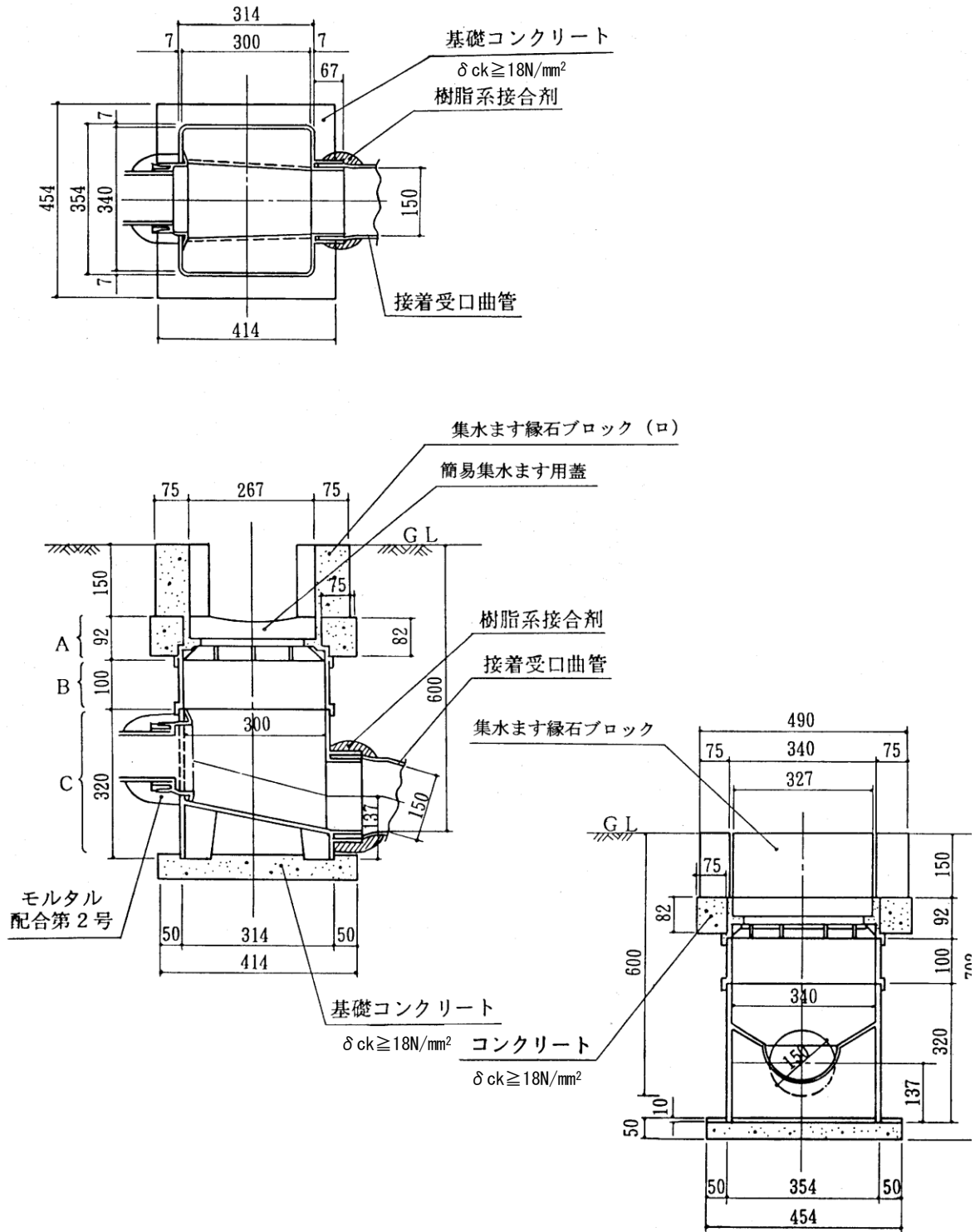
(単位：mm)



18 簡易集水ます標準図

簡易集水ます標準図

(単位:mm)



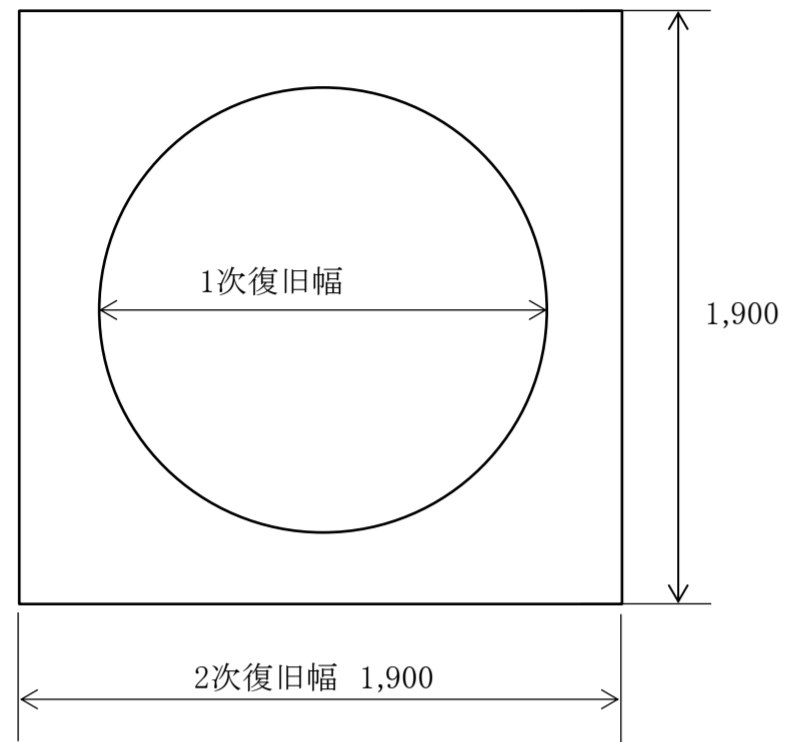
19 道路掘削跡復旧工事施行要綱

工事請負共通仕様書
下水道施設土木工事編
平成23年3月
大阪市建設局
添付資料 24 道路掘削跡復旧
工事施工要綱 参照

20 マンホール蓋取替工事標準図

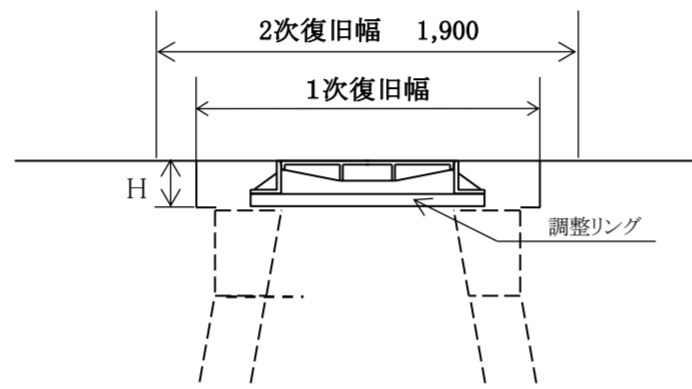
マンホール蓋取替工事標準図（人力施工による工法）

平面図（共通）

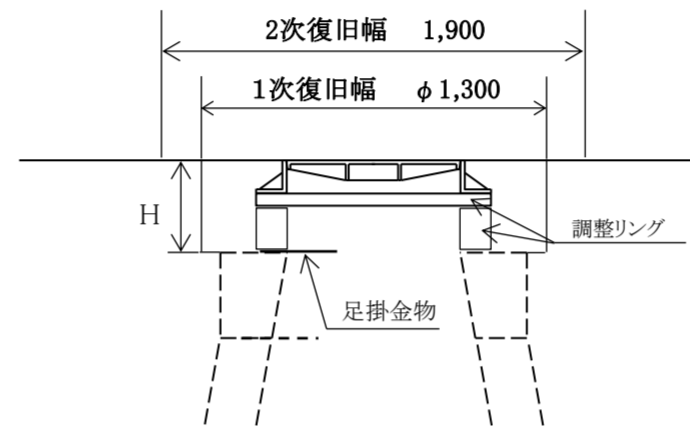


(単位:mm)

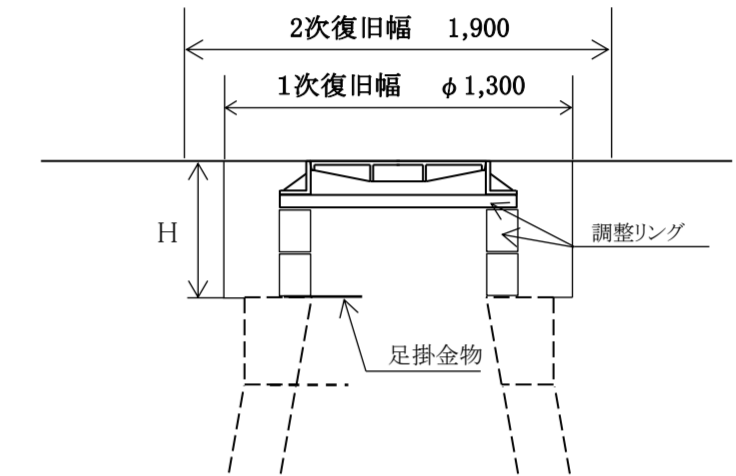
断面図（H ≤ 259mm）



断面図（H=260～419mm）



断面図（H=420～579mm）



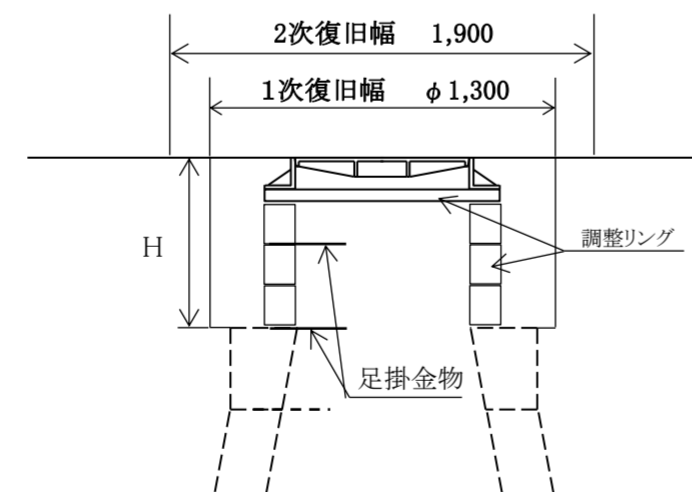
1箇所あたり数量

工種	数量
舗装路面取りこわし工 ($1.30^2 - 0.638^2$) × π/4	1.01㎡
舗装路面1次復旧工 1.30 ² × π/4 - 0.32	1.01㎡
舗装路面切断工 1.90 × 4	7.60m
舗装路面2次復旧工 1.90 × 1.90 - 0.32	3.29㎡

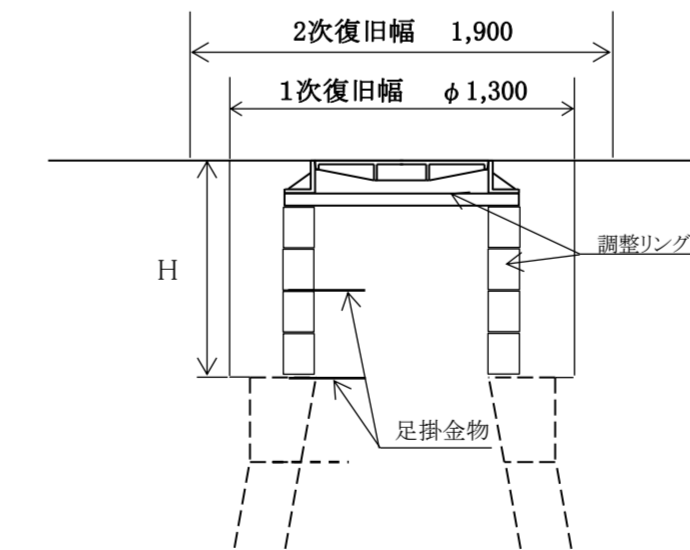
【注】

- 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
- 足掛金物は、設置間隔を考慮して配置すること。
(最大設置間隔 300mm)

断面図（H=580～739mm）

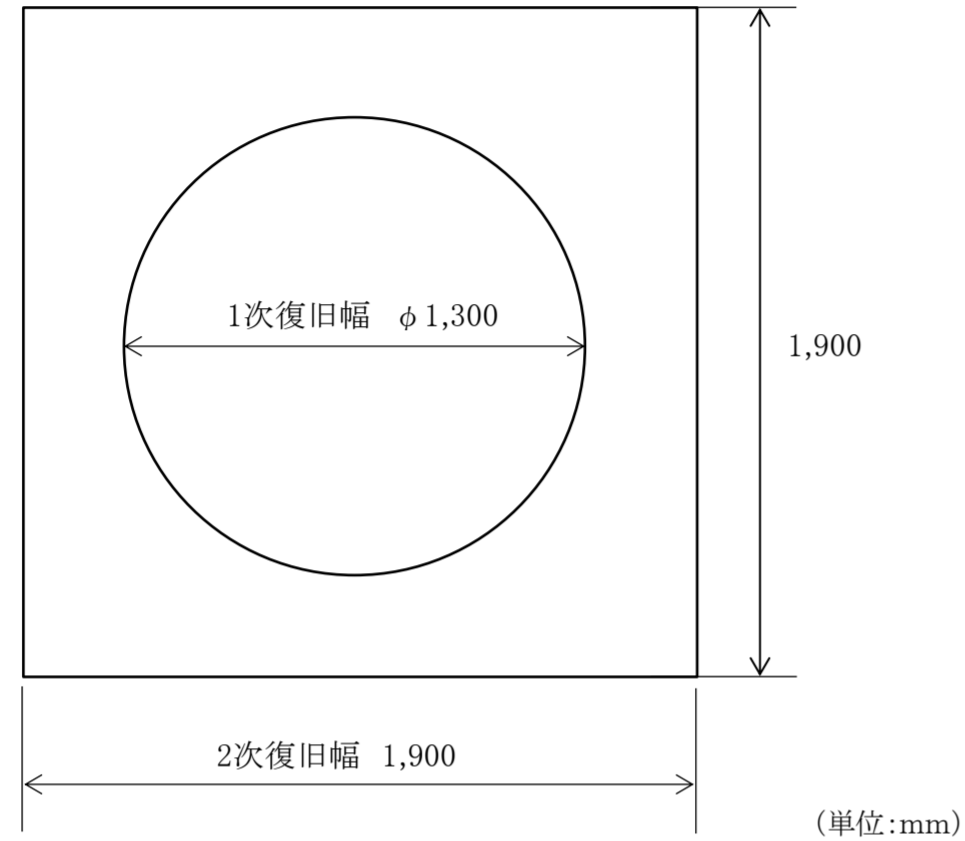


断面図（H=740～899mm）

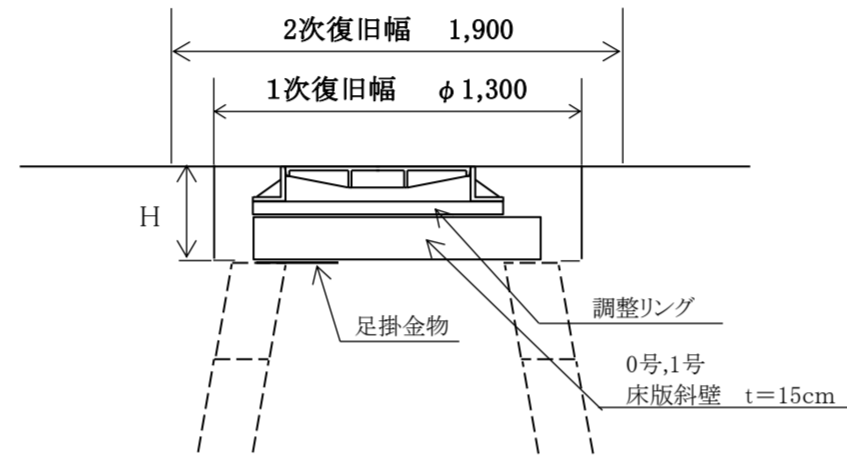


マンホール蓋取替工事標準図(人力施工による工法・床版斜壁)

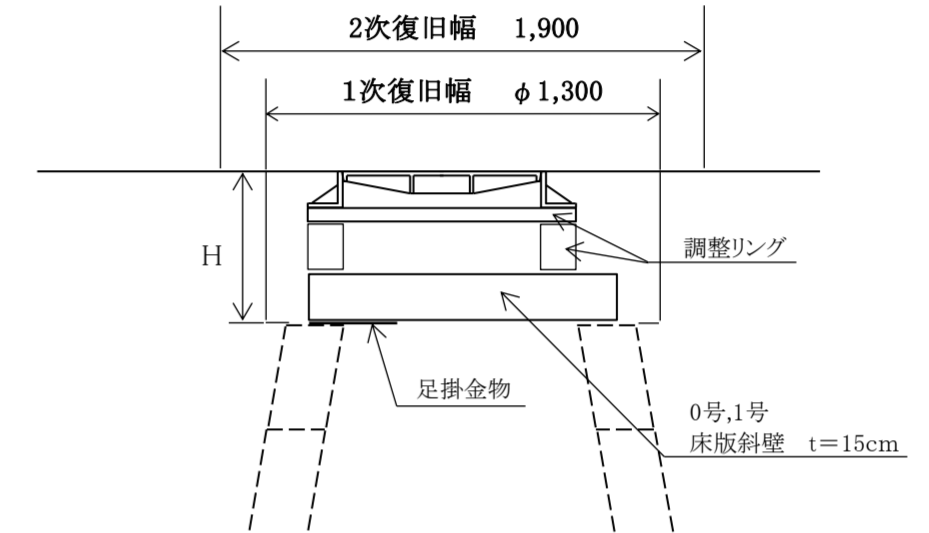
平面図(共通)



断面図(H=260 ~ 419mm)



断面図(H=420 ~ 579mm)



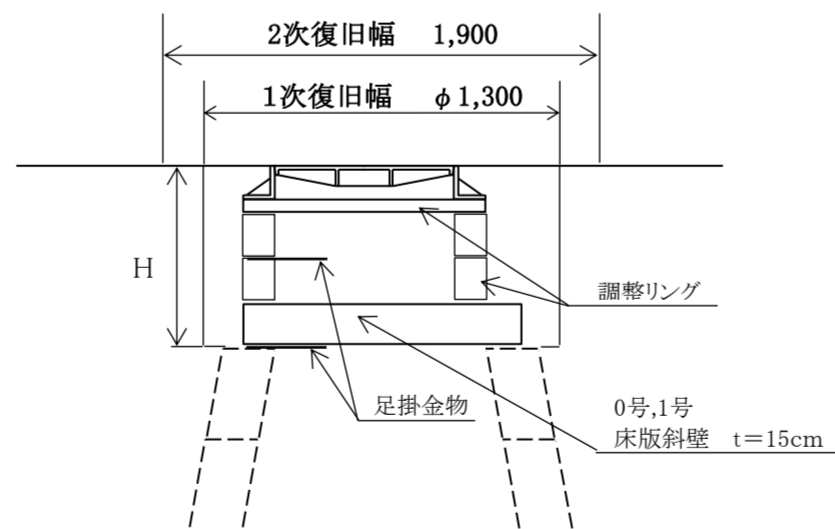
1箇所あたり数量

工種	数量
舗装路面取りこわし工 ($1.30^2 - 0.638^2$) $\times \pi / 4$	1.01m ²
舗装路面1次復旧工 $1.30^2 \times \pi / 4 - 0.32$	1.01m ²
舗装路面切断工 1.90 \times 4	7.60m
舗装路面2次復旧工 1.90 \times 1.90 - 0.32	3.29m ²

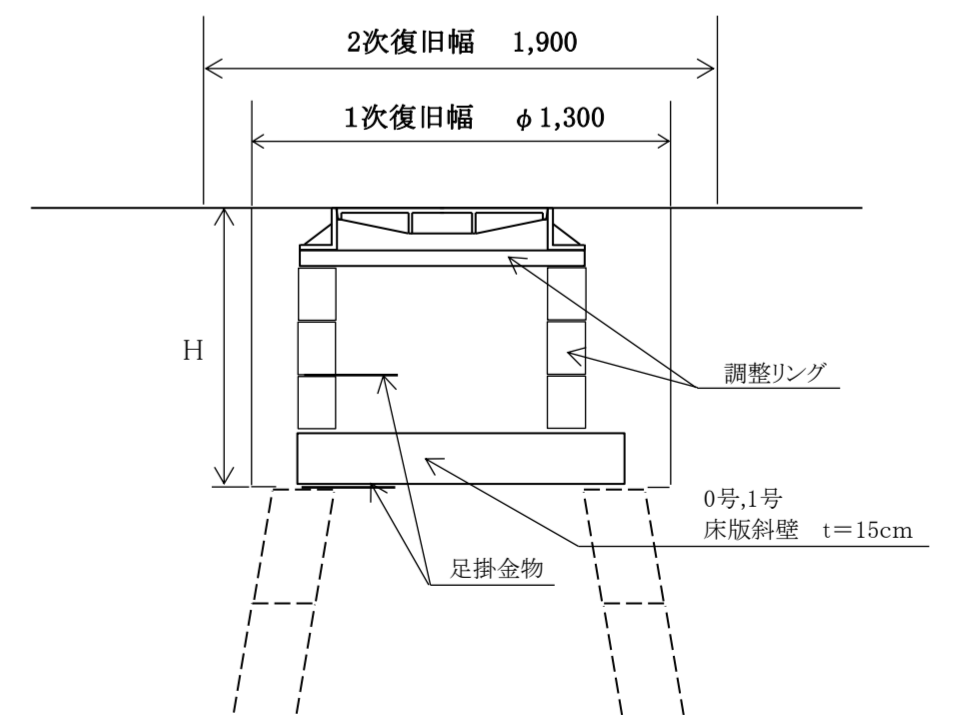
【注】

- 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
- 足掛金物は、設置間隔を考慮して配置すること。(最大設置間隔 300mm)

断面図(H=580 ~ 739mm)

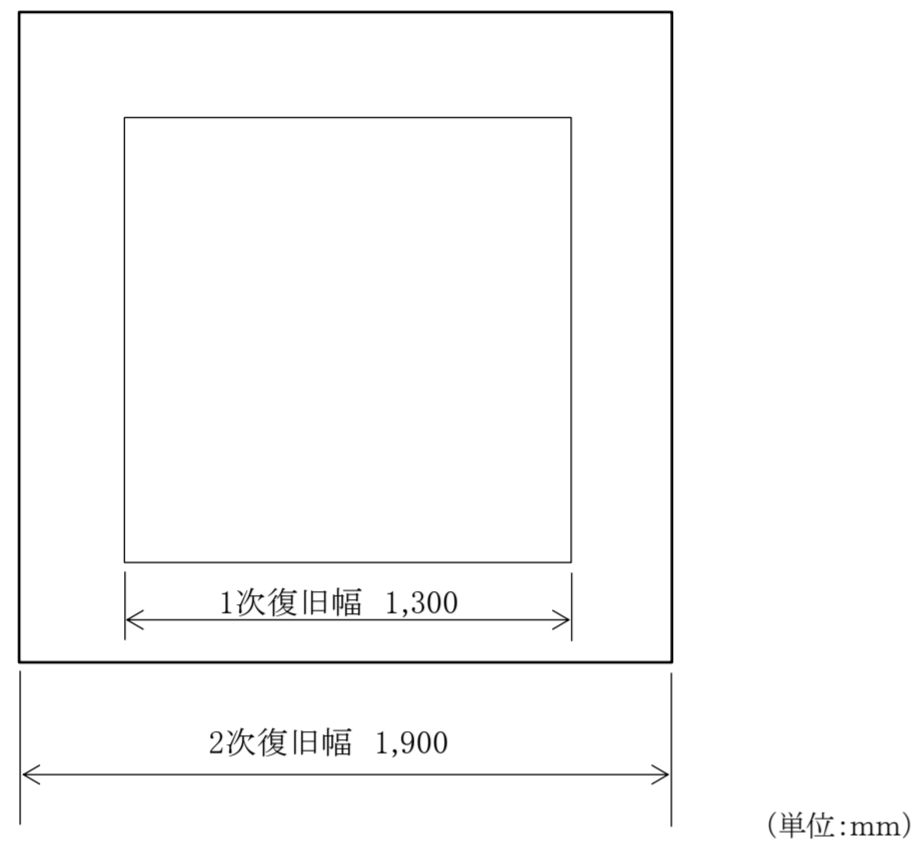


断面図(H=740 ~ 899mm)

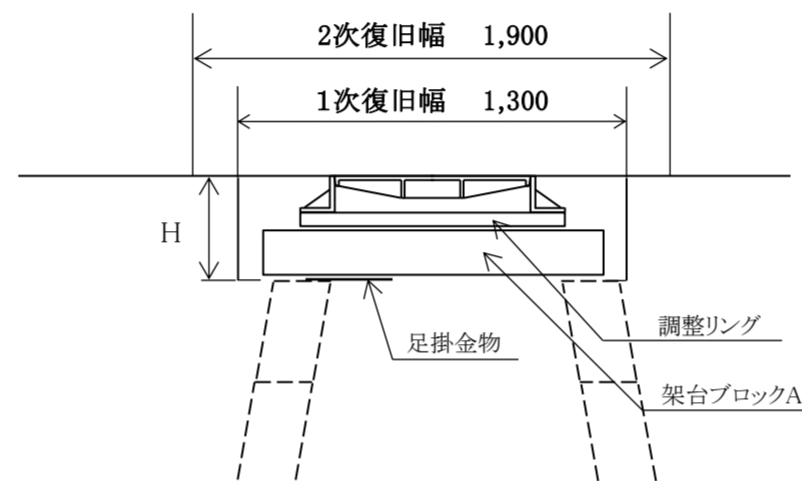


マンホール蓋取替工事標準図(人力施工による工法・架台A)

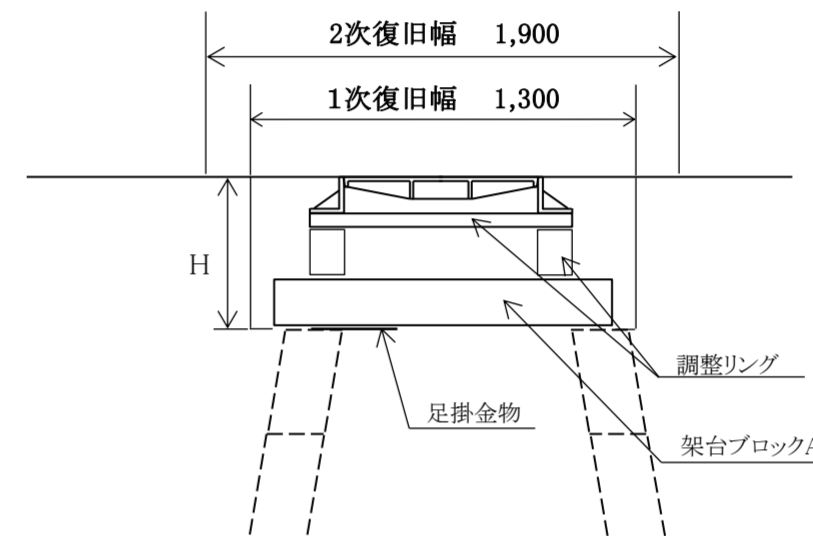
平面図(共通)



断面図(H=260 ~ 419mm)



断面図(H=420 ~ 579mm)



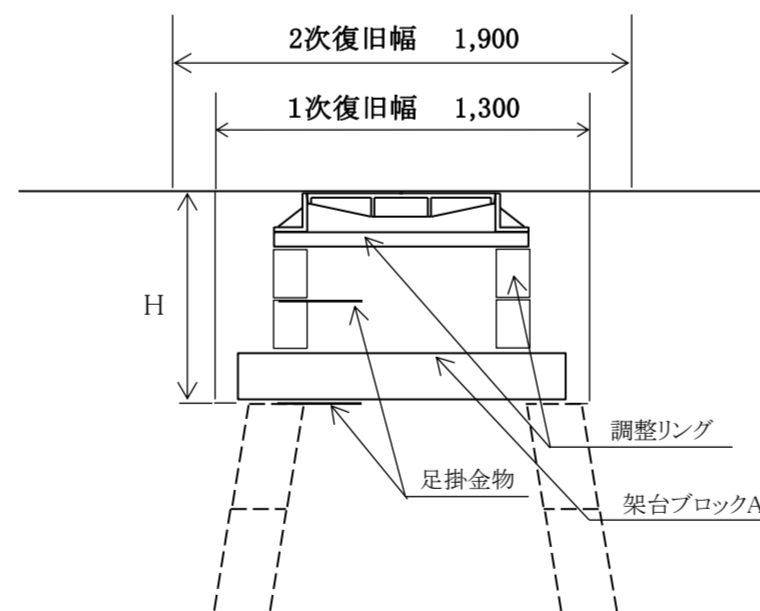
1箇所あたり数量

工種	数量
舗装路面取りこわし工 $1.30 \times 1.30 - 0.638^2 \times \pi / 4$	1.37㎡
舗装路面1次復旧工 $1.30 \times 1.30 - 0.32$	1.37㎡
舗装路面切断工 1.90×4	7.60m
舗装路面2次復旧工 $1.90 \times 1.90 - 0.32$	3.29㎡

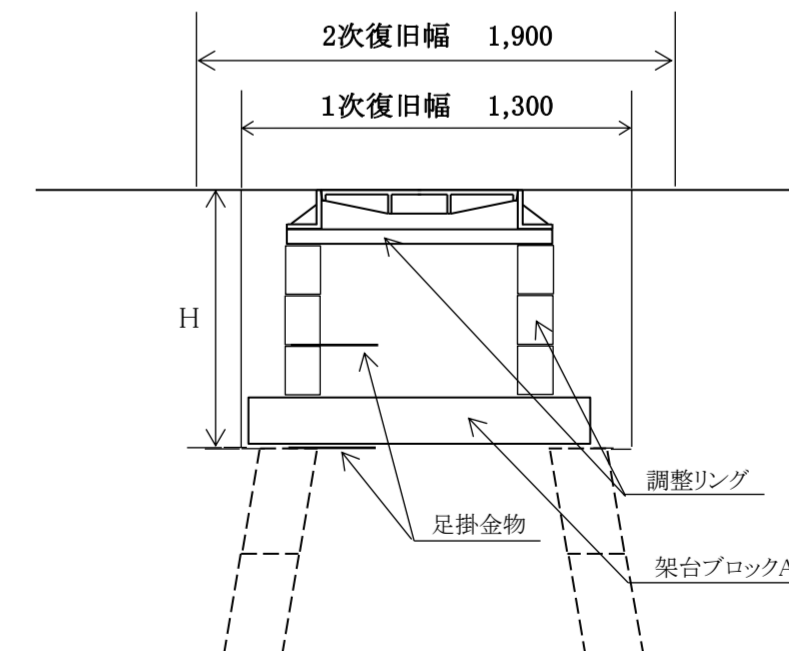
【注】

- 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
- 足掛金物は、設置間隔を考慮して配置すること。(最大設置間隔 300mm)

断面図(H=580 ~ 739mm)

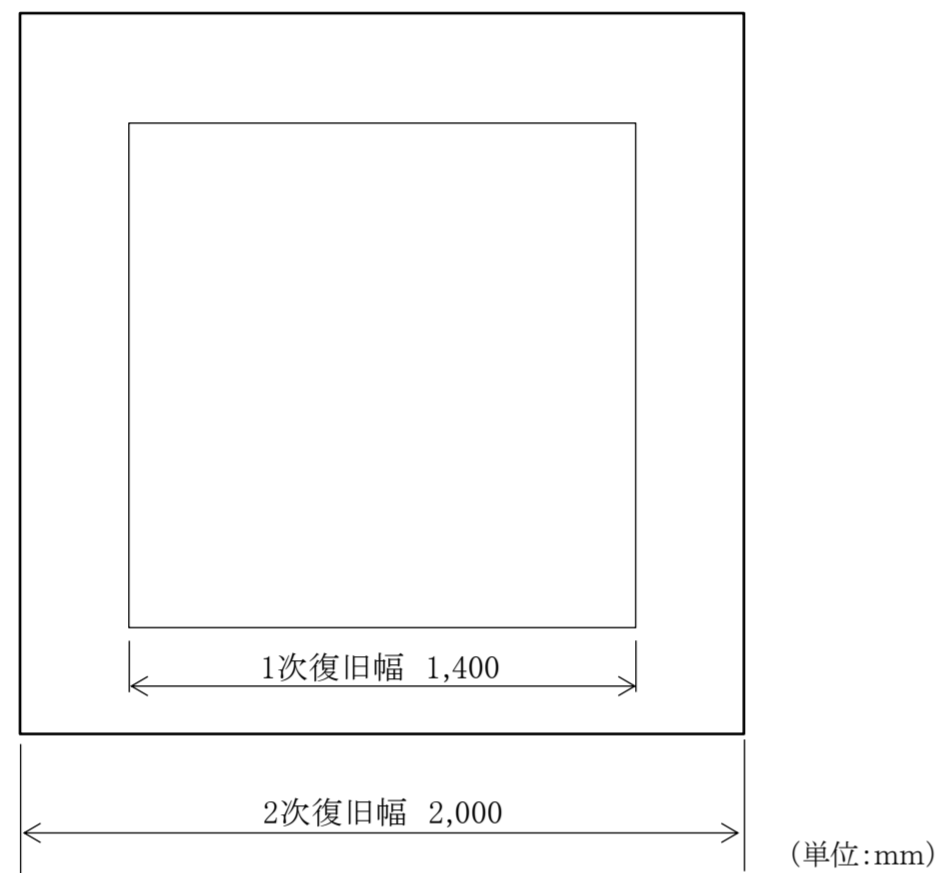


断面図(H=740 ~ 899mm)

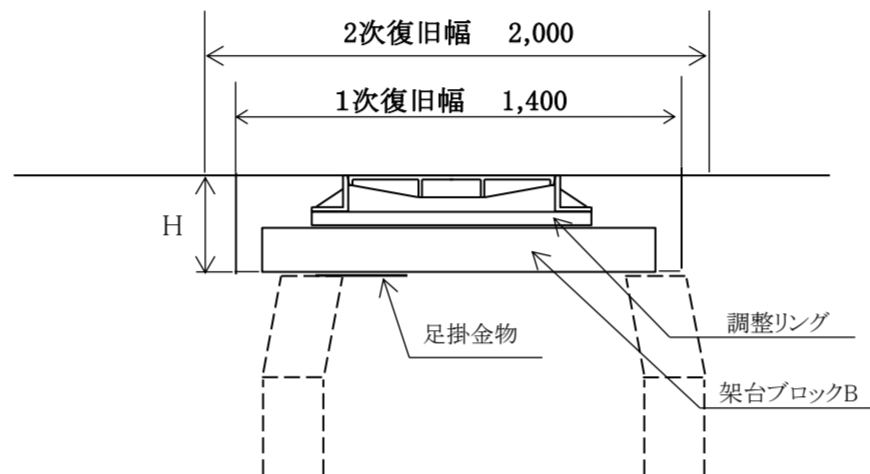


マンホール蓋取替工事標準図(人力施工による工法・架台B)

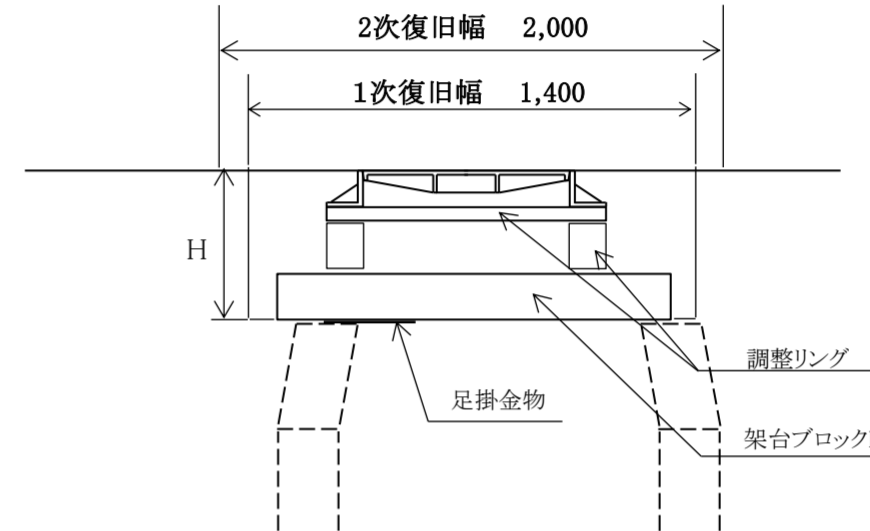
平面図(共通)



断面図(H=260 ~ 419mm)



断面図(H=420 ~ 579mm)



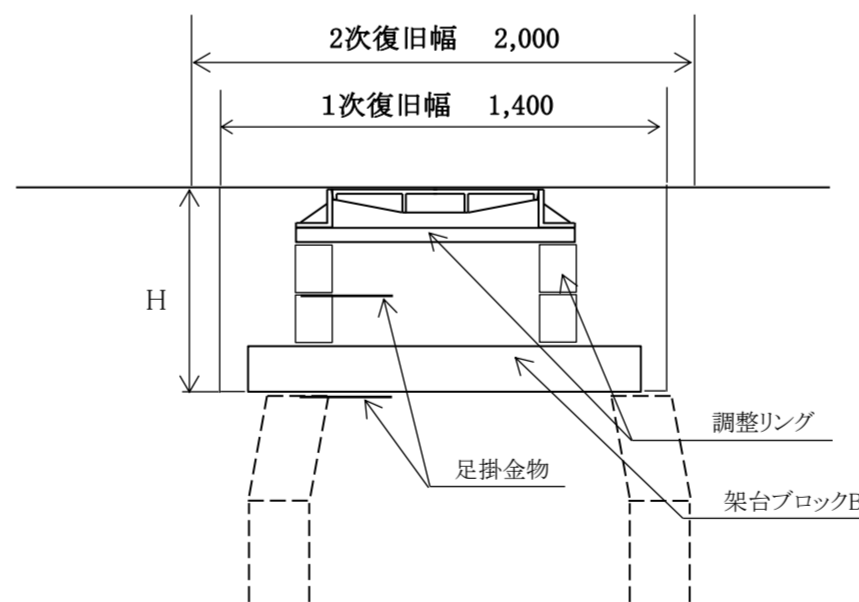
1箇所あたり数量

工種	数量
舗装路面取りこわし工 1.40×1.40-0.638 ² ×π/4	1.64m ²
舗装路面1次復旧工 1.40×1.40-0.32	1.64m ²
舗装路面切断工 2.00×4	8.00m
舗装路面2次復旧工 2.00×2.00-0.32	3.68m ²

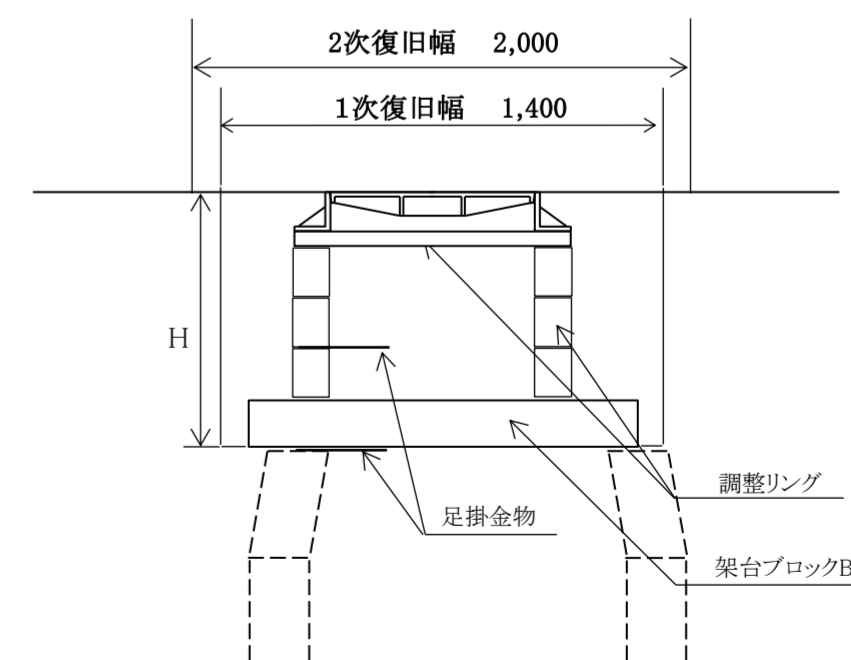
【注】

- 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
- 足掛金物は、設置間隔を考慮して配置すること。(最大設置間隔 300mm)

断面図(H=580 ~ 739mm)



断面図(H=740 ~ 899mm)

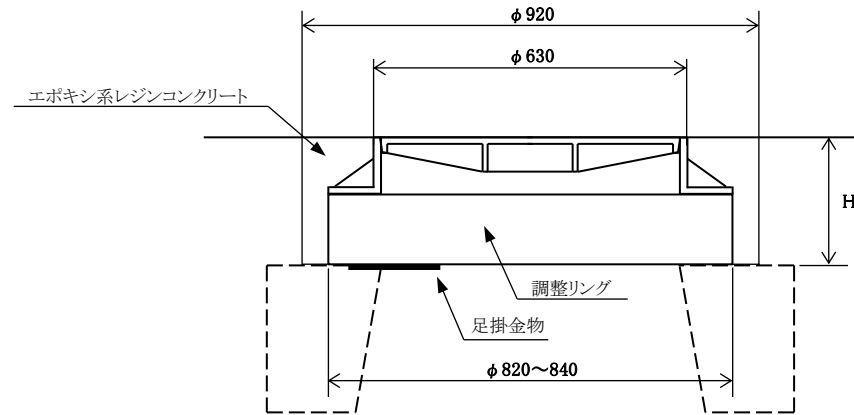
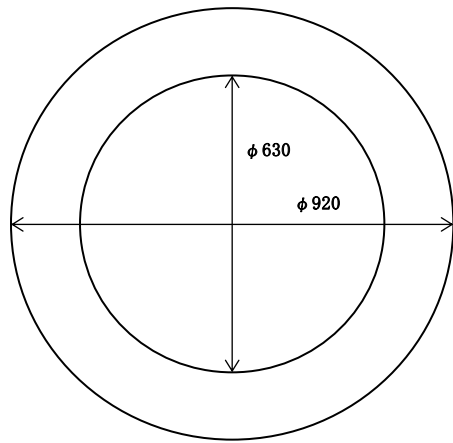


マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・リングカッターによる工法 φ920）エポ工法

【注】

1. その他道路（幹線道路以外）において適用する。
2. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
3. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

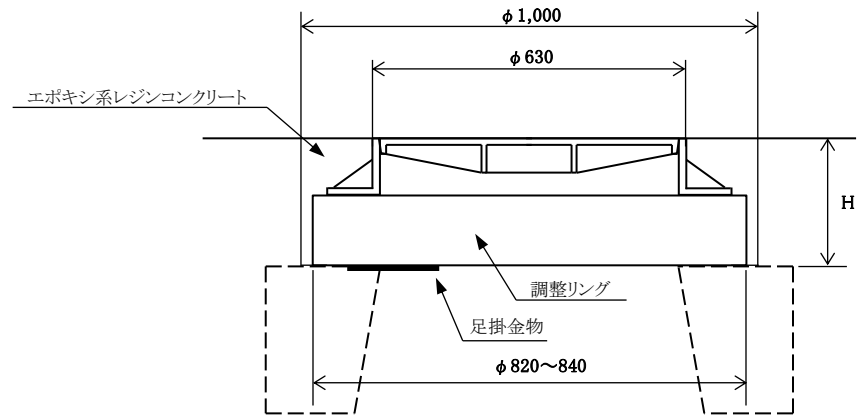
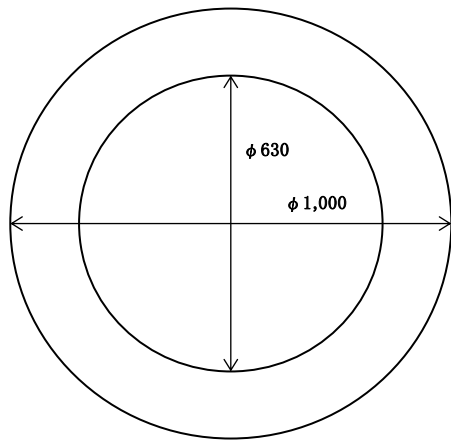
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・リングカッターによる工法 φ1,000）エポ工法

【注】

1. 幹線道路において適用する。
2. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
3. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

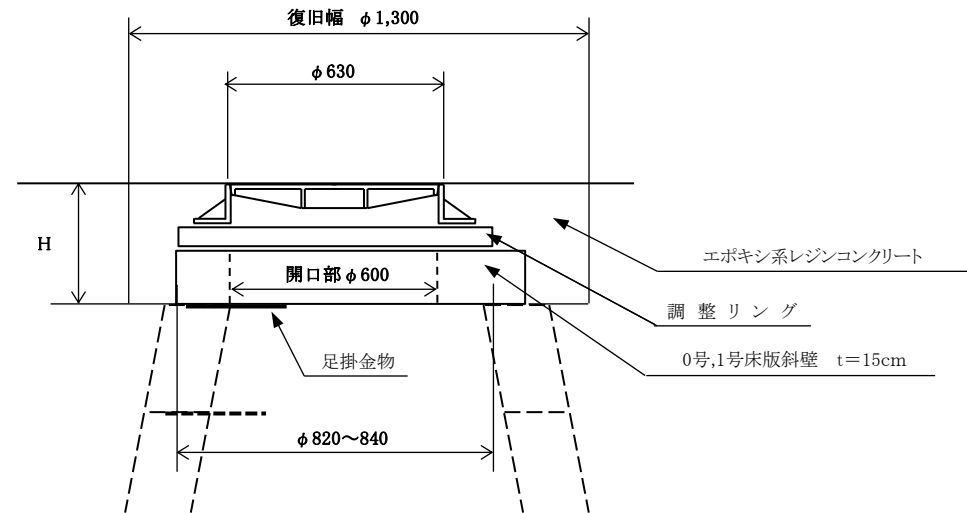
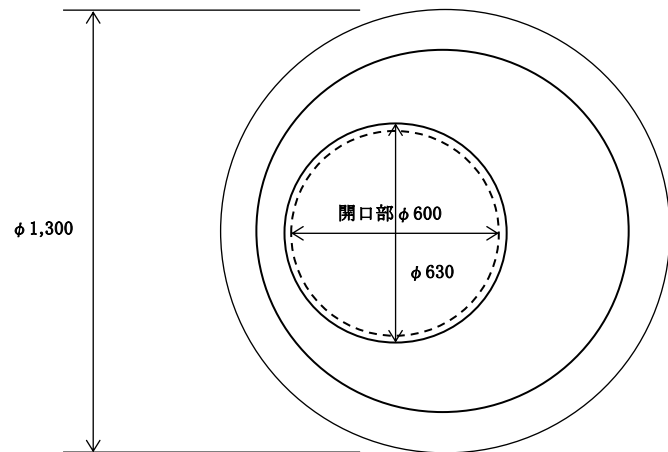
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・リングカッターによる工法 φ1,300）エポ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

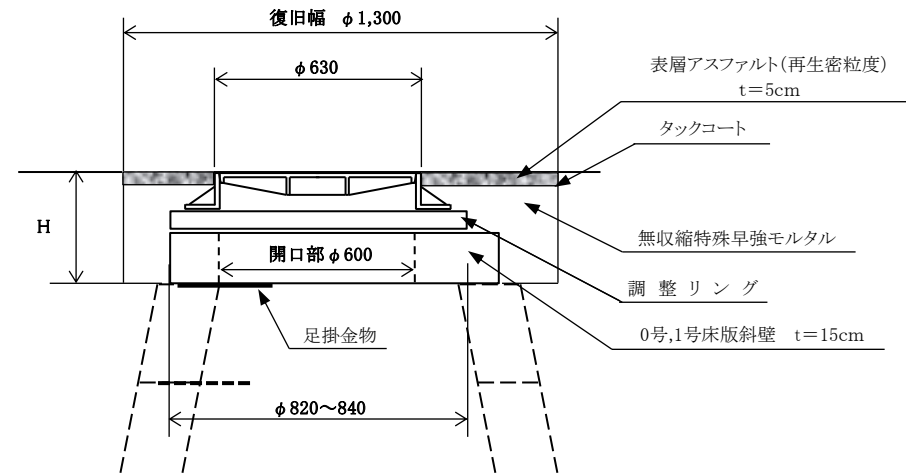
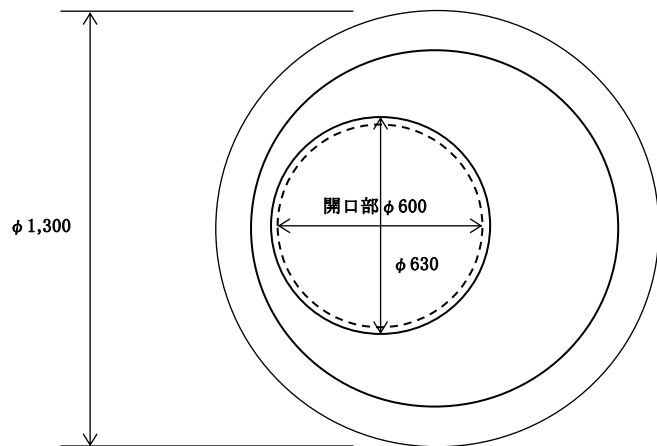
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・油圧ジャッキによる工法 $\phi 1,300$ ）LB・MR2工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

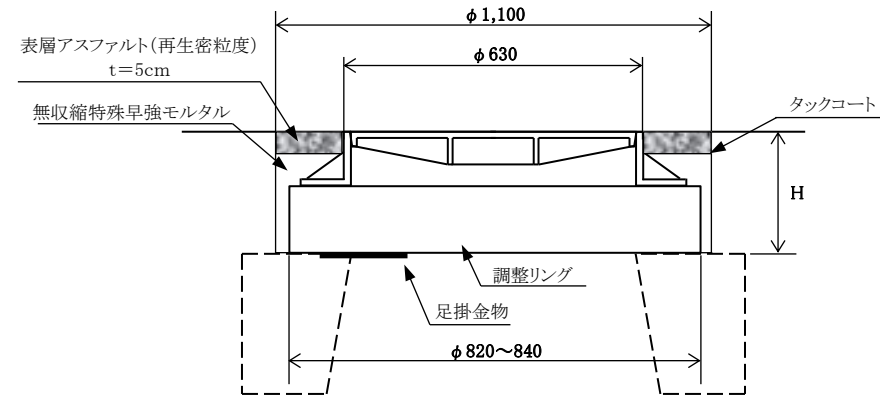
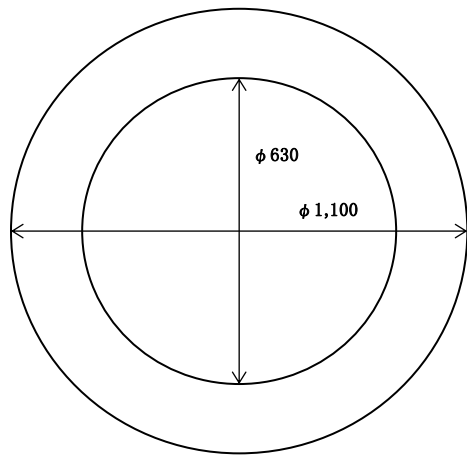
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・油圧ジャッキによる工法 $\phi 1,100$ ）LB・MR2工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

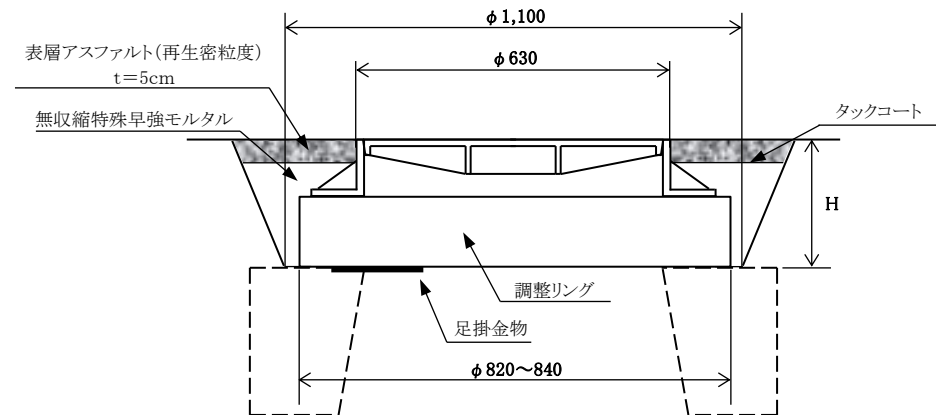
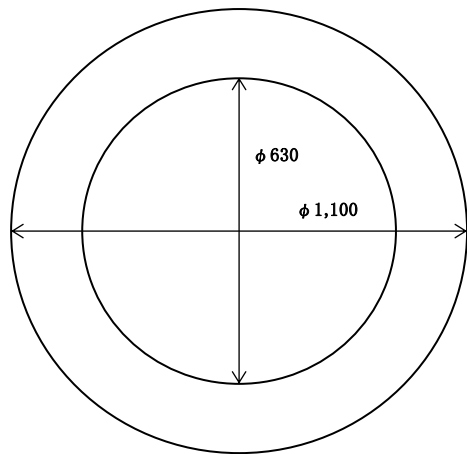
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・斜切円形 cutter による工法 $\phi 1,100$ ）SS工法

【 注 】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

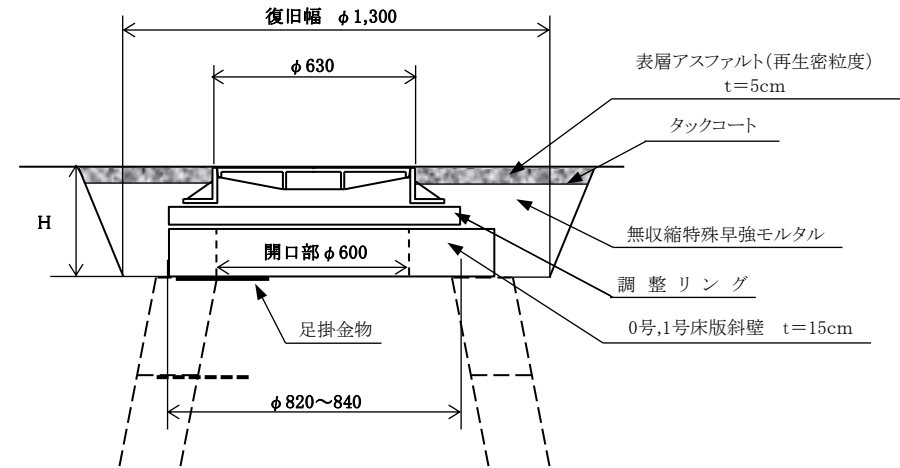
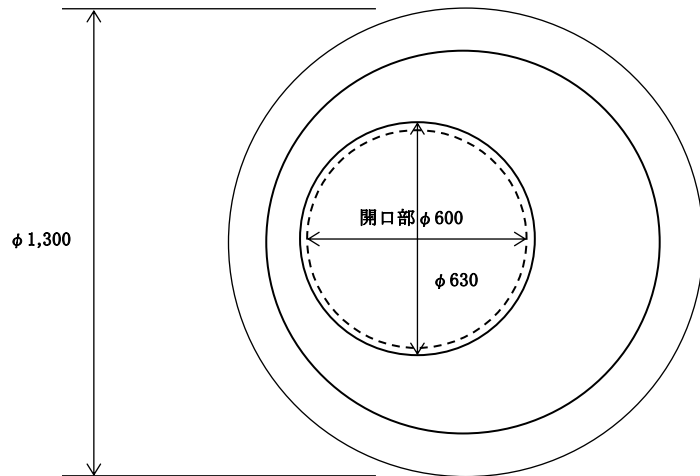
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・斜切円形 Cutter による工法 $\phi 1,300$ ）SS工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

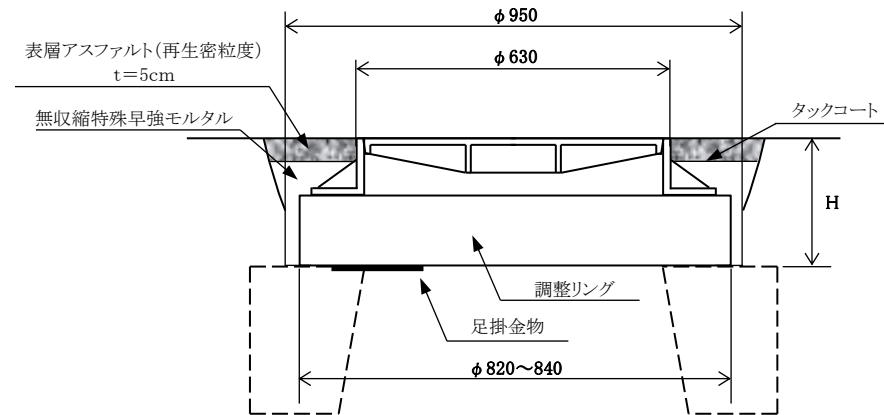
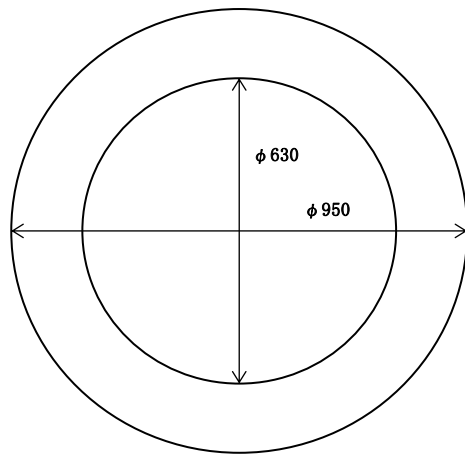
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ950）GMラウンドカッター工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

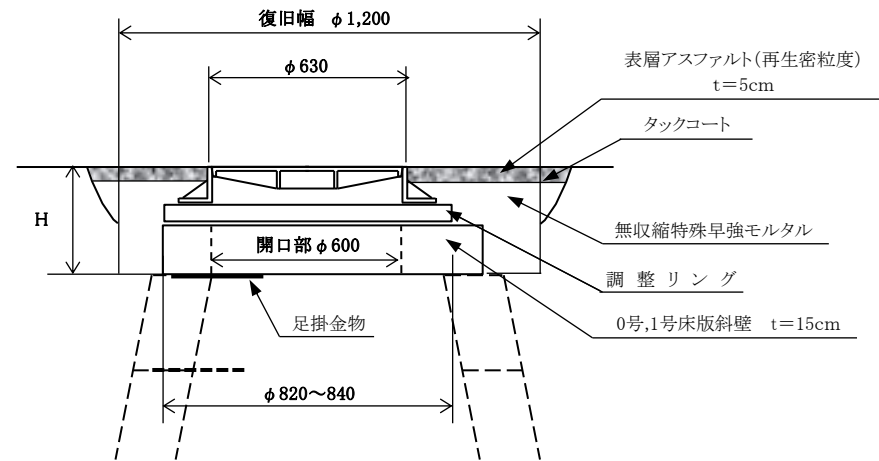
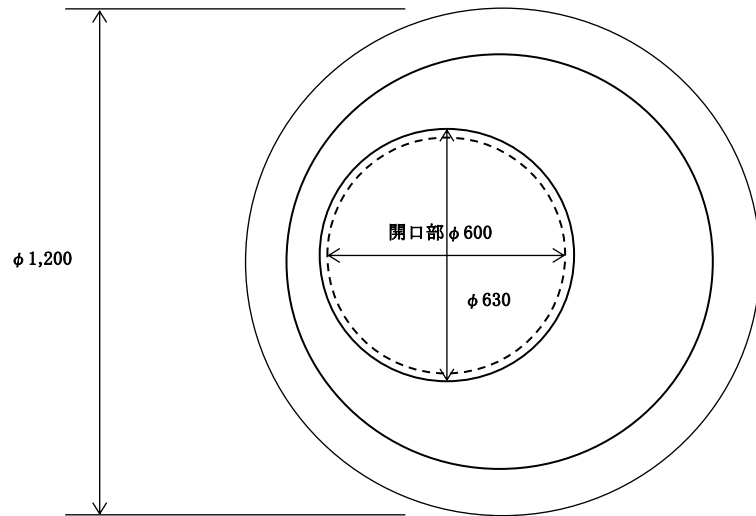
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ1,200）GMラウンドカッター工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

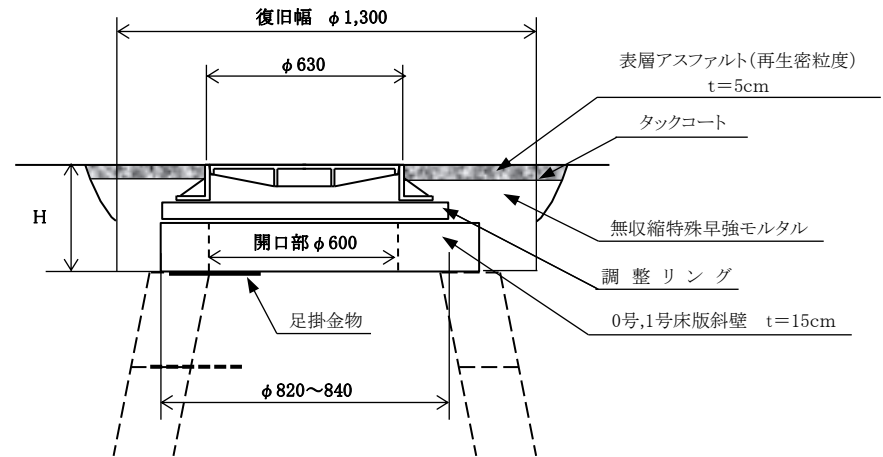
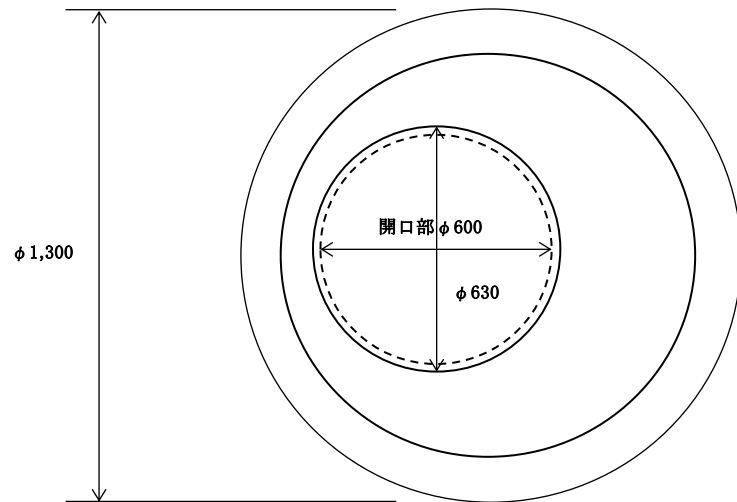
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 $\phi 1,300$ ）GMラウンドカッター工法

【 注 】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

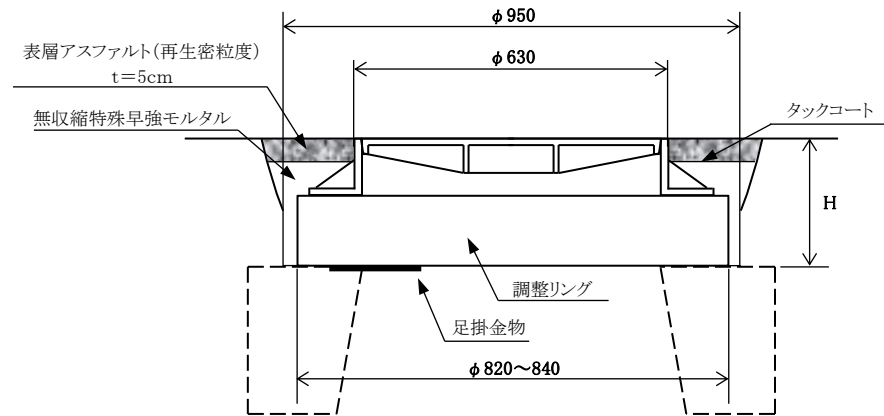
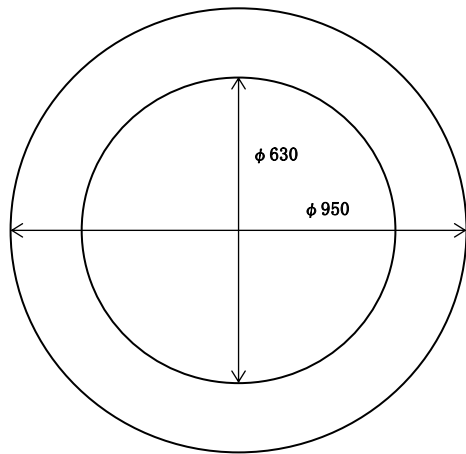
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ950）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

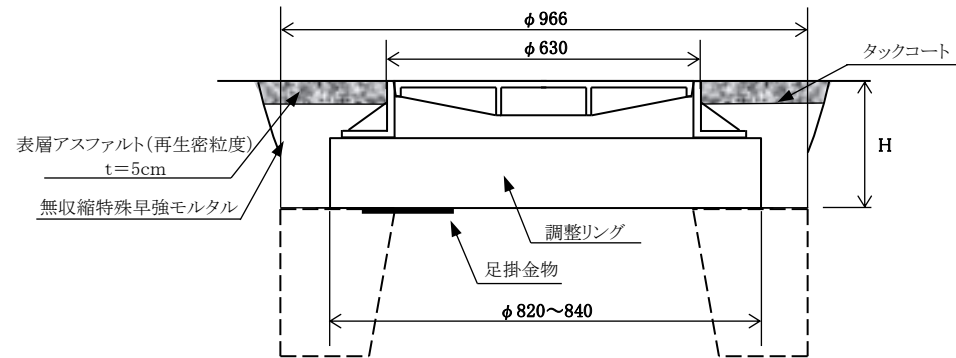
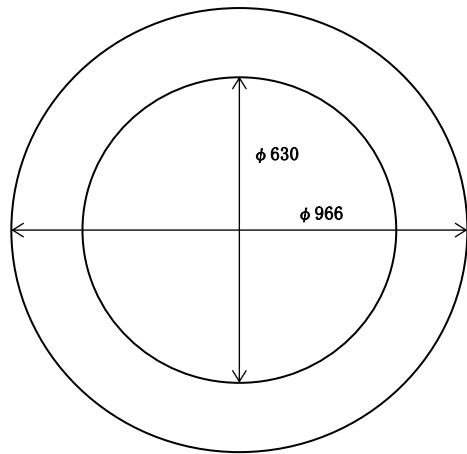
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ966）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

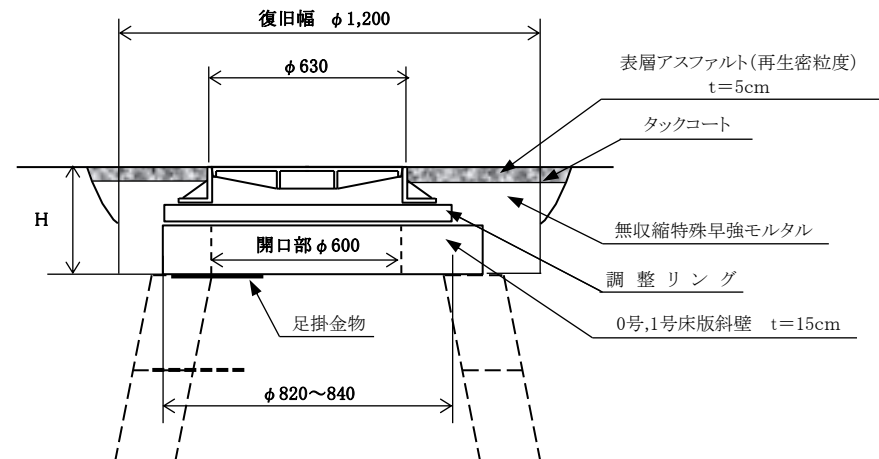
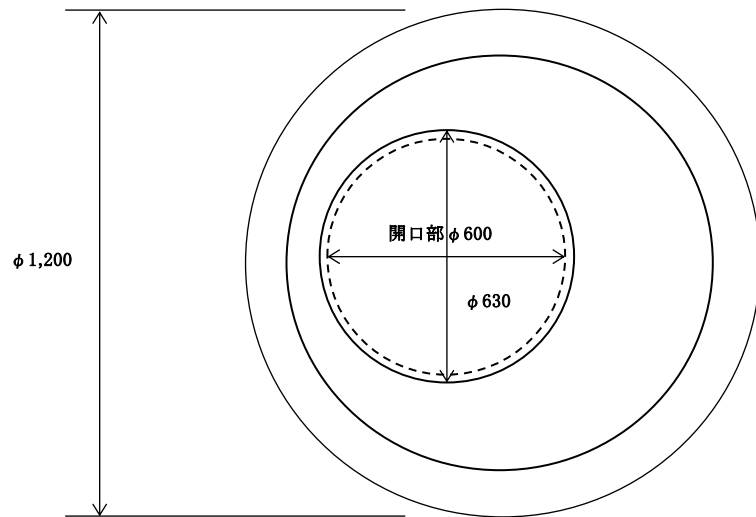
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 $\phi 1,200$ ）パラボラ工法

【 注 】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

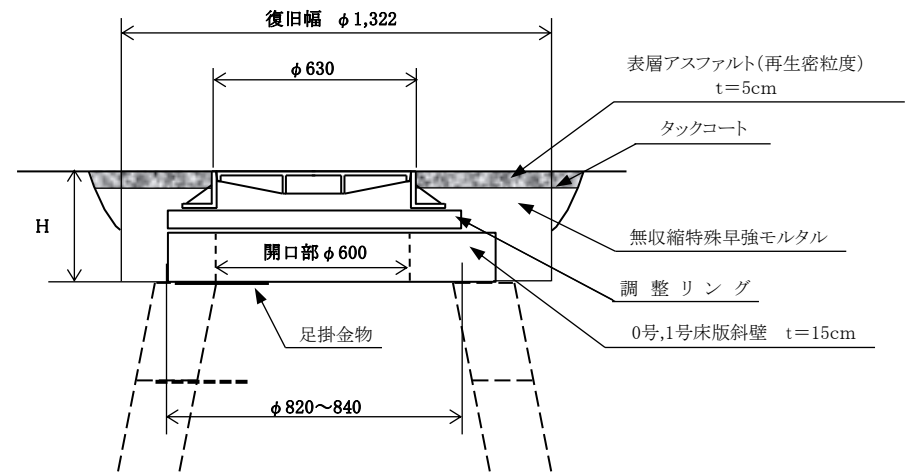
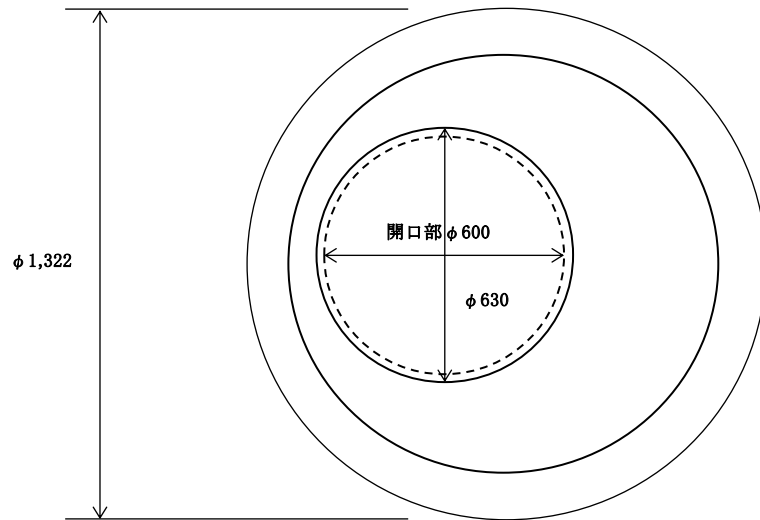
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ1,322）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

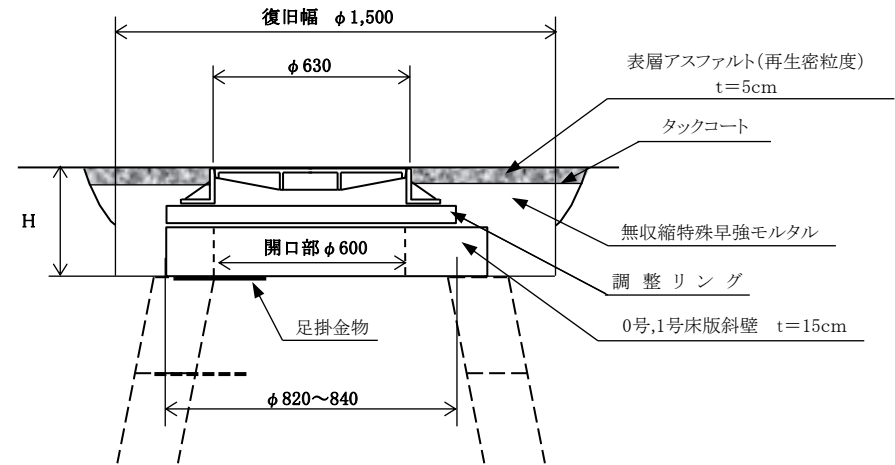
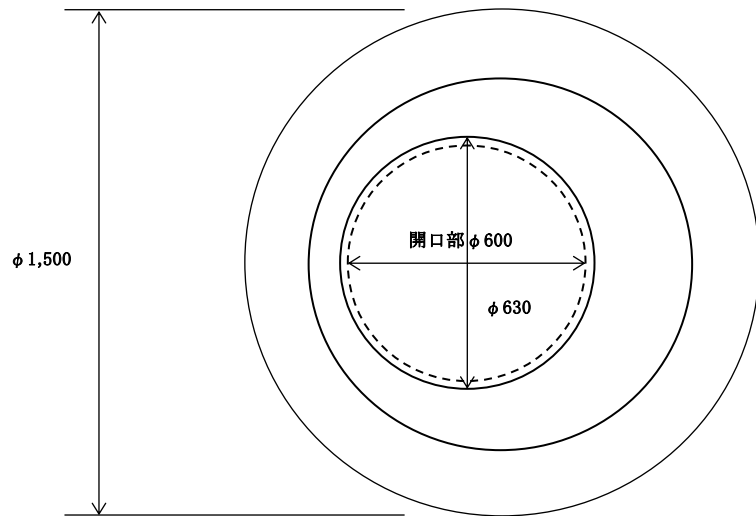
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ1,500）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

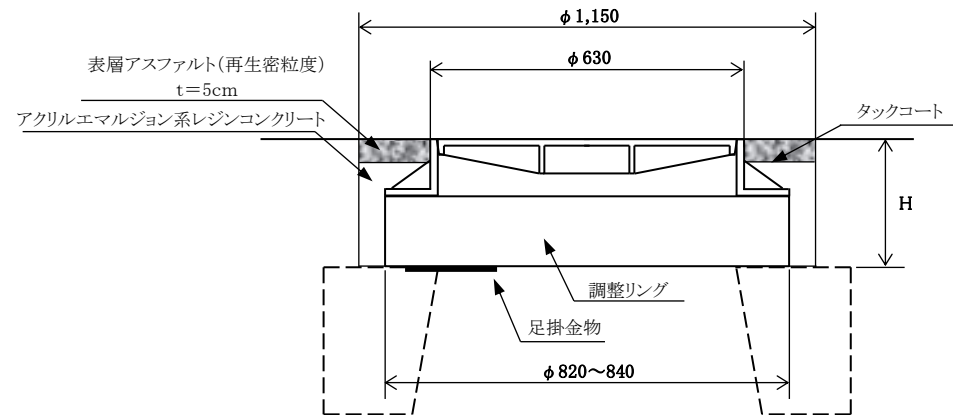
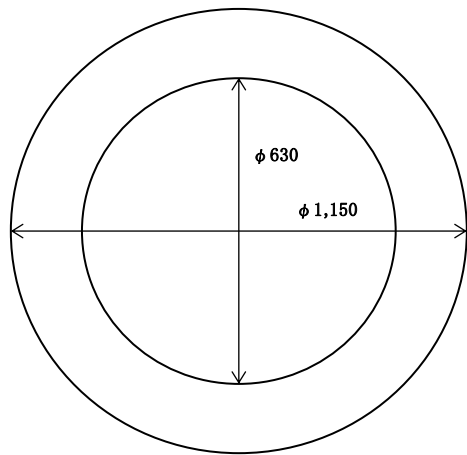
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形（ビット式）カッターによる工法 φ 1,150）TM工法

【 注 】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

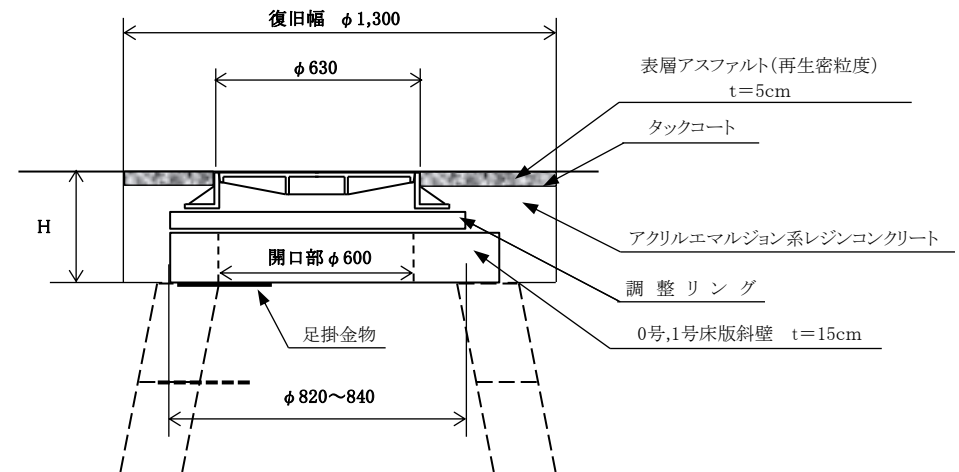
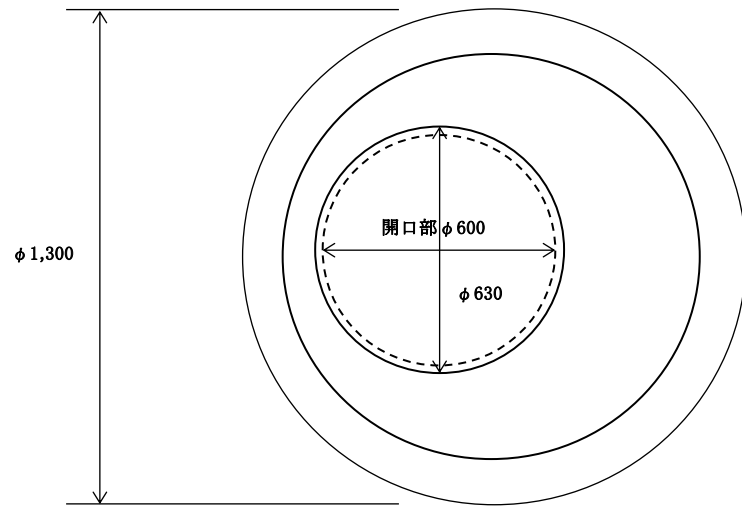
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形（ビット式）カッターによる工法 φ1,300）TM工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

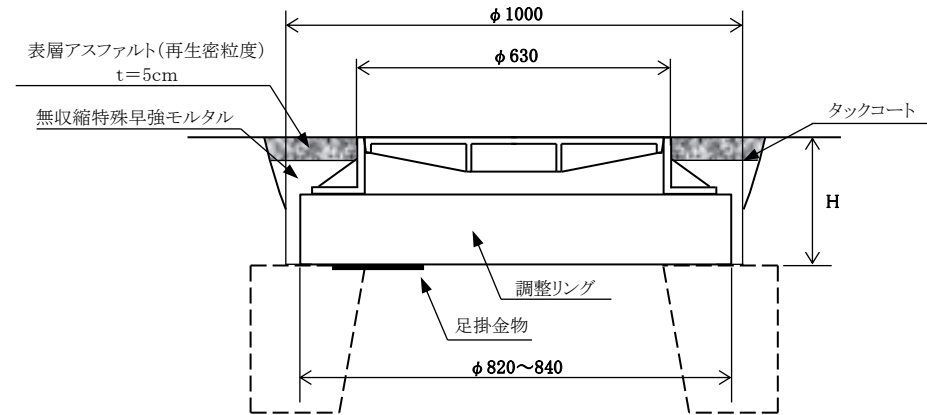
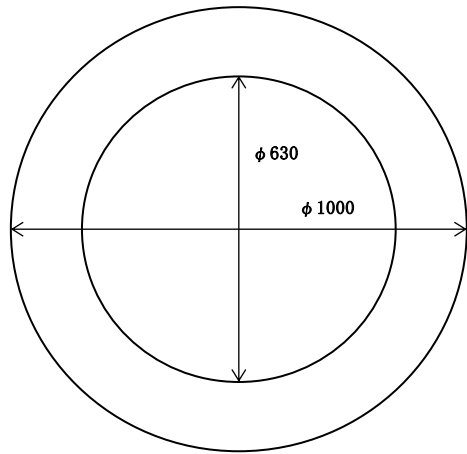
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（円形（球面）カッターによる工法・φ1,000）サークル工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

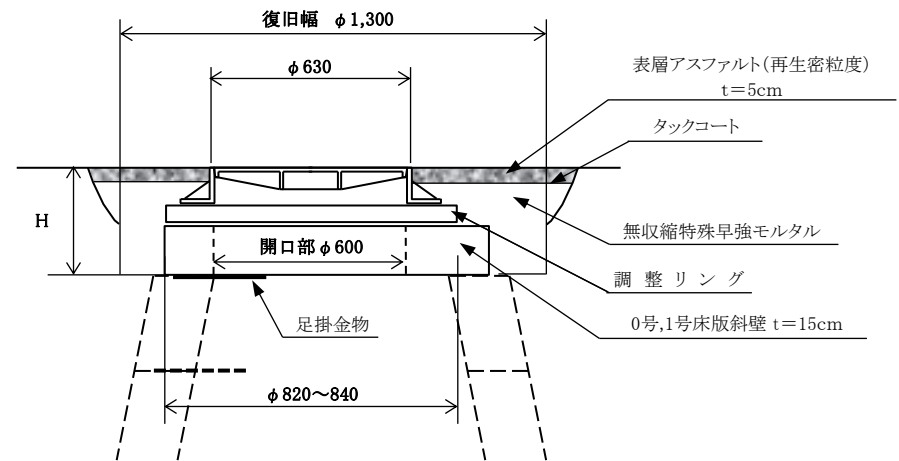
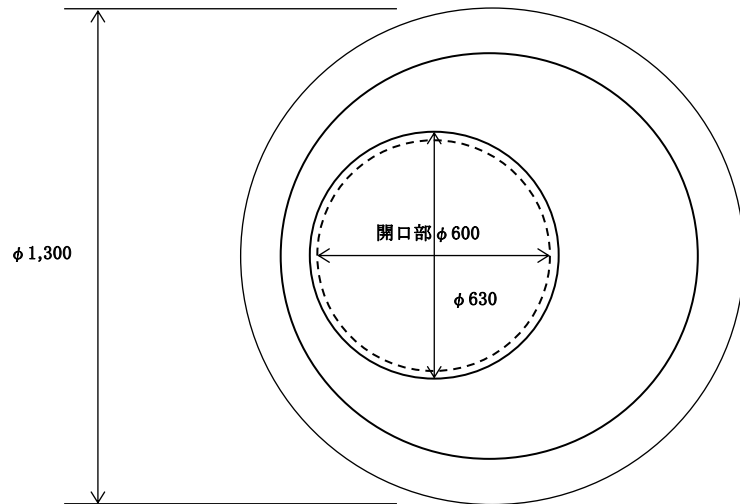
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（円形（球面）カッターによる工法 φ1,300）サークル工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm